



平成30年4月1日

発行人 長野県民生委員児童委員  
協議会連合会  
会長 伊藤 篤志

編集人 編集委員会  
委員長 熊井 文弘

〒380-0928 長野市若里7丁目1番7号  
(長野県社会福祉協議会内)

**特集**

**(主任) 児童委員の役割とは**

**Contents**

- ◆ 特集 (主任)児童委員の役割とは ..... 2~4
- ◆ 研修報告  
市町村民児協会長・単位民児協会長  
及び事務局合同会」報告 ..... 5
- ◆ 民児協訪問  
南箕輪村・松本市波田地区 ..... 6~7
- ◆ 「民生委員制度創設100周年記念誌・足跡」  
ができました! ..... 8

# (主任) 児童委員の役割とは

## 特集

子育て支援をめぐる問題が複雑化しています。県民児連では重点事業の一つに「地域における子育て支援活動の推進」を掲げています。しかし児童委員と主任児童委員の活動の範囲がわかりにくく、地域でも存在を十分理解されていないという課題があります。

そこで、長野県民児連主催で、2月27日上田市の上田創造館で「子育て支援を語るつどい」を開催しました。参加者は、市町村民児協会長と主任児童委員の各市町村代表者、県民児連「子育て環境づくり部会」委員、各事務局担当者など合わせて約150人が出席しました。要約して紹介します。



### 講演

**「子どもを育み守る  
地域づくりと民児協活動」**  
～地域・学校・関係機関等との連携と協働をすすめるために～



高橋久雄さん

社会福祉法人  
至誠学舎立川  
常務理事で、  
児童事業本部長

子どもたちの虐待問題がニュースになっていきます。福祉の視点では、なぜそうなったかの要因が大事。そこに注目しながらどう支援したらいいかを考えましょう。

昭和23年児童福祉法が施行され今年で70周年です。平成6年、主任児童委員制度ができたとき、日本は児童の権利に関する条約を批准しています。

同年、私が主任児童委員になったとき「民生委員に話すと噂になっちゃうからなあ」とある校長に思い込みで言われ、民生児童委員と学校の関係を作らなければと思いました。

児童委員が地域の中で、状況を把握するのが難しくなっています。家庭に入るのが難しくいま、問題が複雑多様化しています。平成23年の全国調査では、民生児童委員と主任児童委員の関係において、6割は定例会で報告を実施。子育てサロンなどで連携しているという回答もありましたが、児童委員としての活動が認識されづらいことが浮彫りになりました。

### 地域で子育て支援を

全県民児連が発行した「児童委員制度創設70周年全国児童委員活動強化推進方策2017」の「これからの児童委員活動の重点」を紹介します。各地域でもぜひこの4つのどれかを重点的にやるなど活動に加えてください。冊子「児童委員活動の手引き」もぜひ活用ください。

重点1 こどもたちの「身近なおとな」となり、地域の「子育て応援団」となる

重点2 子育てを応援する地域づくりを進める

重点3 課題を抱える親子を早期に発見し、つなぎ、支える

重点4 児童委員制度やその活動への理解を促進する

### 家庭家族が危機的状態にその機能を知る

いま、家族が危機的状況です。家庭家族の機能は子どもを産み育てていくこと、家庭に戻って癒されて元気が出る力をもちます。人との関係、社会を作っていく力を育て、人に対する信頼感を育てる機能を持っています。子どもの養育についてポイントを紹介します。

①児童の基本的欲求を満たすことによる児童の生命維持と保護

②基本的信頼関係を築き発達を援助し、パーソナリティ形成にかかわる

③子どもの社会化の第1ステップとしての人間関係の学習やしつけ、社会的規範などを身につけさせる

④毎日の家庭生活の営みの中で生活上の

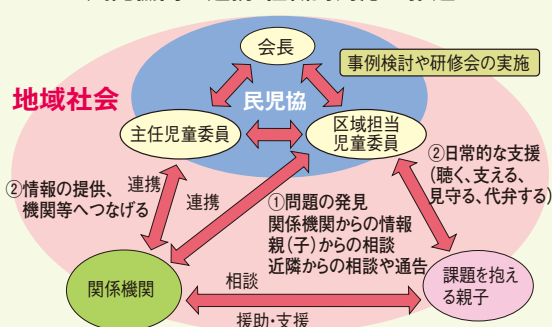
基本的技術や知識の習得をはかり、またその地域の文化や伝統を継承し、創造する

虐待を受けても知能はダメージを受けないのです。しかし推論することが難しく、行動に出てきます。規範意識は虐待を受ける子どもより高い反面、現実には反する行動が多く、本人自身が一番苦しんでいます。自己肯定感が育たない。愛着障害という言葉も使われるようになっていきます。

### 民生委員・児童委員は、わがまの宝

児童委員は、地域の住民の立場で子どもやその家族とのかかわり、変化（気かりなこと）を感じることが出来ます。そして、主任児童委員はつなぎ役なので、生かす方次第です。地域住民のよき友よき住民、困ったときは相談すればという

### 民児協内の連携・組織的対応の推進



## グループワーク

## 主任児童委員の現状と課題を議論

6人ずつ25のグループワークでは、主任児童委員としての活動と課題を出し合いました。第13グループの内容を要約して紹介します。

小澤 清一さん (諏訪市長)  
 松村 由美子さん (飯田市主任児童委員)  
 佐藤 洋一さん (佐久市主任児童委員)  
 北澤 明美さん (大田市主任児童委員)  
 草野 淑子さん (駒ヶ根市主任児童委員)

存在。地域住民の力をよく知り、関係機関とのつながりの中で必要な制度につなげていくキーパーソンでもあります。(図参照)

子どもが安心して暮らし豊かに育つ、子育てがしやすい町は、「誰にも安心して暮らしやすい町・住みたい町」づくりの視点が大事で、会長を中心にチームワークをお願いします。また「わが町の豊かな人のつながり」をつくり、親が親として育っていく環境を支援します。親に笑顔が多く想像力を発揮できれば、子どもも豊かに育ち、周りも支援しやすくなるでしょう。

みなさん、一期でなにをいいか分からなければ、二期やることです。強化方策も10年やることで生きてきます。



## 身近な施設に訪問し信頼される存在へ

草野―特別なことも調査もしちゃいけない。見守りとつなぐことを言われました。活動をしなわけにもいかないけど、しすぎていけない。何すれすれはいいのかわからなかった。学校評議員にもなっていますが、発達障がいの子もたくさんいます。担当している学校は、養護学校の分教室も併設、困ったときはつなげるようにはしています。

北澤―大田市では主任児童委員だけで定例会を行っています。学期ごとに学校、保育園幼稚園、学童保育に向き、子どもたちの様子をつかっています。

松村―問題のある子の名前は出しますが北澤―はい。口頭だけです。赤ちゃん訪問では、4カ月を目安に主任児童委員と地区の児童委員で、80%は訪問できています。訪問できなかつたところは、保健センターや行政などに確認したいです。

草野―一般に民生児童委員は年寄りのことをしているという認識。子育て中のお母さんたちはわかっていないのです。紹介される機会もなく、いいのだからかと思えます。

佐藤―主任児童委員の活動が地域では知られていないということですね。

松村―民生児童委員はこういう仕事をしています、という連絡カードがあるのでぜひご利用ください。

## 学校との情報交換では子どもの個人情報も

北澤―未就園児のひろばは行きますか。草野―今まではあまり参加したことがないので、考えてみようと思います。

松村―保健師に事前にお願ひして幼児の健診に参加し、自分たちの紹介をさせていただきます。PRの方法もこれから課題ですね。

佐藤―佐久市は4者懇談会をしています。校長、地区の児童館長、スクールメンタルアドバイザー、主任児童委員が集まって情報交換します。特にアドバイザーとは他に2回情報交換を行い、おさんの具体的な情報共有を図っています。これが大きな活動の源にもなっています。本年度は講演会を小諸市の主任児童委員と合同で開催しました。民児協定例会では、一昨年度から主任児童委員活動報告を始めたところ、効果があり、今年度になってから地区の児童委員から相談が来るようになりました。

小澤―チームで連携が取れるようにしているのですね。

佐藤―はい。また学校から民生児童委員に家庭訪問してほしいといわれ対応しました。

小澤―諏訪市は主任児童委員の月例会をやっています。地区会の定例会には必ず出席して情報交換し合います。月1回の単位民児協会会長にも、主任児童委員部長も入っていただきます。小・中との年1回の懇談では担任との個別懇談も必要に応じてしています。

松村―飯田市の場合は、ブロックごとに少人数で情報共有もしています。課題は民生児童委員との連携が難しいことで、民生児

童委員は担当地域で子どもの情報が得にくいため、主任児童委員にあまり情報が届かないのです。小中学校では学期ごとに訪問し、子どもの資料をフルネームでもらいます。それを地域の民生児童委員に個別でつなげます。

## NPOなどに訪問を子ども食堂も注目

佐藤―赤ちゃん訪問はしていますか。松村―保健師が赤ちゃん訪問をして、本人に承諾を得て、4カ月で主任児童委員が訪問。多い時で年間30人いたことも。訪問することは楽しみです。

小澤―諏訪市では、行政(保健師)が訪問しています。

北澤―外から転勤で来た人は、周りに知っている人がいないので、保健師から我々の存在を紹介していただけると、当事者からほっとしたという反応がありうれしいです。松村―関係機関との連携が大事ですね。施設の話が出てきましたが。

北澤―NPOなどの施設は、今日の講演を聞いて訪問する必要があるかと思いました。草野―健全な子どもたちはいいけれど、発達障がいの子どもを放課後預かる児童デイビスなどにも行ってみます。

松村―施設として現状は把握できるが、家庭には関わりません。

北澤―民児協全体の研修旅行で、コースに児童に関する施設を入れていただいています。草野―今話題の子ども食堂はみなさんやっていますか。

北澤―市で募集して3団体が手を挙げ、何回か開催しました。それぞれ今年度後半に始まったため、まだ認知されていません。

松村―飯田市は3カ所あります。モデル事業として始まった1カ所は現在学習支援に変えました。貧困を前面に出せないのです。声を上げられない人をなかなか見つけられないというのが課題です。

# 寄稿

## 上田市と長野市の

### 主任児童委員部会報告

地域の民生児童委員が自発的に提案し、初めて実現した市同士の主任児童委員の交流会を、立役者である長野市松代地区の委員に寄稿いただきました。この関係作りが、前頁の全体研修運営にもつながっています。

## 市の枠を超えての交流会

長野市主任児童委員

石田 三千夫

平成29年9月12日、上田市民児協と長野市民児協の主任児童委員が参加した、日頃の活動や悩みを語り合う「交流会」を長野市の委員が上田市を訪問し、開催しました。前年の一斉改選から約一年を経た時期に、東信地区と北信地区の代表規模となる民児協であることに加えて、平成の広域合併を行い、共に中心市街地や新興住宅地そして中山間地を活動区域とする、共通した課題を抱える両市であることから、「交流会」を行うことになったものです。

会場となった上田市中心にある「健康ぶらさうえだ」の2階大ホールに、長野市からは60人が参加、上田市からは主任児童委員に加え、増田会長他、各地区会長にも応援をいただき、11のグループに分かれての「グループ討論」を行いました。なお、グループについては、お互いの活動区域の特長を合わせること、共通の話題をもった語りあいができるよう、配慮しました。

## グループで違いを知り、 参考になる事例を交換

まず、両市の主任児童委員選任方法については、上田市は中学校区を基準とし、長野市は行政地区によるこの選任方法の違いが、それぞれの委員さんと学校との関係に強弱が生じていることが話題となりました。

また、子育てサロンや4カ月検診時でのお手伝いについては、長野市から詳細に説明を行いました。

さらには、中山間地域では児童・生徒数の減少により、学校の統廃合について現実のものとなっていると、切実に語られています。

こうした中でも、主任児童委員として何をしたらよいか、「自分を売り込む」「小中学校の行事・懇談会にすすんで参加する」等、積極的に主任児童委員の活動を行うとの意見も出されています。

特に「信州型コミュニティスクール」の実施により、「学習支援」をはじめとして、学校とのパイプ作りが、今までにない型で進めることができるようになり、地域として学校を見守ること、そしてその保護者の皆さんとも気軽に声を掛け合えるようになるなど、主任児童委員として活動領域を拡げることが容易にできるよ



▲グループごとに意見交換する様子

うになったことを、認識することができました。しかし、新任の委員さんから、主任児童委員として「活躍の場が分らない」「立場がはっきりしない」「区域担当民生委員さんとの連携が課題」等の悩みも出され、二期以上務める委員として、悩みを聴く場や気楽に話せる雰囲気をつくる重要さに気がつくこともできました。

短い時間での「交流会」ではありましたが、大変有意義な時間となり、これからの主任児童委員部会として参考となる事例や意見を聴くことができました。

この交流会を行うにあたり、長野市の申し入れを快くお引き受けいただきました、上田市民児協増田会長はじめ地区会長の皆さんと主任児童委員の皆さんに、改めて御礼申し上げます。



- (1)講演 演題：単位民生委員児童委員協議会の運営について  
～民生委員制度創設100周年を踏まえて～  
講師：全国社会福祉協議会民生部長 池上実氏
- (2)長野県健康福祉部地域福祉課から県福祉行政等について  
地域福祉課担当係長 櫻井治彦氏
- (3)長野県民生委員児童委員協議会連合会助成金等について  
県民児連事務局

# 研修報告

編集委員 土屋 珠江

## 「市町村民児協会長・単位民児協会長 及び事務局合同会」報告

市町村民児協会長、単位民児協会長及び事務局合同会が、平成29年12月8日、長野市若里文化ホールにおいて開催され、県内より310人の関係者が参加しました。当日出席した会長の7割は1期目で、私もその一人です。

本合同会の主旨は、平成28年12月の改選により、県内では半数以上が新任委員として誕生。民生委員・児童委員協議会長や事務局は、新任委員への助言・支援や協議会の運営においても重要な役割を担うことになっています。円滑で充実した委員活動及び協議会活動を推進するためです。

池上氏が「民生児童委員と事務局の係わりは大きい」と話しました。県内では新任委員は半数以上なのですが、私が所属する単位民児協は7割と多く、特に委嘱後初の「定例会」では事務局にお世話になりました。

講演で印象に残っているのは「民生児童委員は点としては弱い、点と点を結ぶと線になり、多くなると面になる。網の面が細かい方がよい。我が事」になってくれる人が多くなると、もれる人が少なくなる「こんな言葉を思い出しながら、今後の民児協活動の指針として、事務局に相談しながら「定例会」が楽しく気軽に相談できる場となる様、「かじ取り役」として無理なく笑顔で活動したいと思っています。

合同会の内容は次の通り、要約して報告します。

民生委員制度100周年を迎えて～守り続けていこう

講師池上実氏より、100年間民生委員が果たしてきた5つの役割を紹介。

- ① 地域住民の身近な相談相手、見守り役としての存在
- ② 行政の協力者として福祉制度を効果的に機能させるつなぎ役
- ③ 民間会社福祉活動の中核であり推進者
- ④ 地域課題の可視化と住民の代弁者として提言
- ⑤ 時代に先駆け福祉課題の解決に自ら取り組み

これからも「民生委員児童委員信条」を守り続けることが大切とのこと。

### 民生委員児童委員活動を 取り巻く環境変化

- ◎ 少子高齢化の進行と地域社会の変化（認知症高齢者増加、子どもの貧困など）
- ◎ 課題の複合化（「8050問題」「ダブルケア」）
- ◎ 相次ぐ自然災害と要援護者支援（「災害に備える民生委員活動10か条」については民児協で話し合ってください）
- ◎ 「地域共生社会」の実現とは、子ども高齢者障害者などすべての人々が地域、暮らし生きがいを共に創り、高め合うことを目指すもの。キーワードは「我が事」「丸ごと」をあげています。

これからの民生委員  
児童委員活動に向けて

◎ 民生委員児童委員活動は期待が大きい。「誰もが笑顔・安全に・安心して暮らせる社会づくり」を目指してほしい。又、「相談相手」専門機関へ「つなぎ役」として活動を。

◎ 「100周年活動強化方策」については地域住民のつながりを強化し、住民同士が互いに支え合うことで「地域力」を高めることが大切。

### 単位民児協活動充実のために

◎ 単位民児協の「任務」は民生委員法第24条に記載。すべての委員が所属し、活動の基礎となる組織。又、関係機関との連絡調整も民児協組織として行う大切な場所。「居心地のいい場所」で活動は無理なく笑顔でできることが大切。民児協の任務を遂行する上で最も重要な会議が「定例会」であり、報告事項のみならず委員の協議に充て、主任児童委員報告も定例化する。

◎ 単位民児協会長は組織の「かじ取り役」として各委員の意見にも配慮しつつ活動方針や目標の立案をする。関係機関団体との連携協働中、心となる様。

◎ 民児協事務局は、民生委員児童委員の立場になった関係機関との連絡調整、わかりやすい情報提供、定例会等準備、研修事業の企画、運営等に民生児童委員活動を支えていただく重要な機関。

訪問

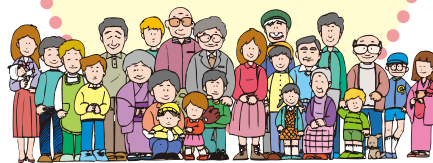


松本市波田地区

南箕輪村

記者が地区民児協におじゃまし、会長や委員とコミュニケーションを図って、第三者の目でレポートしていく「訪問」コーナーです。

民児協  
だより



南箕輪村民生児童委員協議会



▲社協まつりでのあったかスープのふるまい

人口が増加、県下最大の村  
揃いのジャンパーで安心の地域に

南箕輪村は中央アルプスと北アルプスを望み、天竜川の河岸段丘が広がり、平地に太陽の光が降り注ぐ風光明媚な村です。比較的温かい気候。人口約1万5400人、村としては県下1位、全国7位。2040年の人口統計では、県内の市町村で唯一人口増が予測されています。中央自動車道が横断し、名古屋と東京の両サイドから車で2時間程度と利便性が高く、伊那市のベッドタウンでもあります。民生児童委員は30人、そのうち主任児童委員は2人です。17人が1期目で男性が多いのが特徴です。

「村と言っても住宅は平地に広がっているため、行き来が楽で、地形的に活動はやりやすい」と話すのは会長の宮下努さん。宮下さんは北殿地区約3千人を他の4人と担当。近所の人を担当しないよう配慮して、自分の住んでいる地域とは違う場所を担当するシステムになっているとのこと。それに加え、「若い人が多いので、アパートや公営の住宅もあり、どんな住人がいるのか把握しづらい」と課題もあります。世帯台帳はあっても、障がい者や高齢者が使っているサービスなどは足で歩かないとわかりません。

特に子どもの情報がなかなかわからないとも宮下さんは話します。中学が1校、小学校が2校で、連携を図るため、年一回の学校との懇談は、小・中合同にしました。人口増加はうれしい反面、子どもたちの顔が見えず、情報を把握することができません。

高齢者の見守り活動の一つとして、社協の給食サービス事業に協力しています。毎月2回、一人暮らしの高齢者約70人に無料配布することで、安否確認になっているといいます。また、毎年10月には昨年で20回を数える社協まつりにも、民生児童委員は全面的に協

力。ポップコーンや綿あめ、あったかスープなどを担当し、住民との交流を深めています。こうしたイベントなどに活躍するのがユニフォームです。民生児童委員活動が必要な時は揃いのブルーのジャンパーを着て対応します。

訪ねた2月の定例会では、長野県南信消費生活センターから講師を迎え、架空請求やオレオレ詐欺、還付金詐欺など、特殊詐欺からどう高齢者を守るかについて学びました。

今後の活動について聞くと「任期中に災害時の対応をまもりたい」と宮下さん。「まずは自分自身と家族の安全を確認したうえで行動を」を念頭に、各区の自主防災組織とのかかわりをマニュアル化して明確にしたいとのこと。



▲お揃いのジャンパーが眩しい(前列真ん中が宮下会長)

## 松本市波田地区民生児童委員協議会

### 福祉12施設を3年かけて全訪問 地域を知って信頼される活動を



▲コミュニケーションを大事に（一列目真ん中が大西会長）

スイカの産地として知られる波田町は2010年に松本市に合併しました。戦国時代には善光寺道名所図会などで信濃日光とも呼ばれたといわれます。西に標高2447メートルの鉢盛山がそびえ、北側に梓川が流れ、河岸段丘と扇状地に田畑と住宅が広がっています。松本電鉄上高地線が東西に縦断し、名所名跡を車窓に眺められる美しい地域です。

2月の定例会を訪ねると、次第にぎっしりと連絡項目が並び、行政各課、社協、包括支援センターからの連絡はもちろん、地域にあるお弁当配達サービスをする地域のNPO法人も呼んで、値段や味のことまで細かく情報交換していました。「定例会には、社会で話題になっていることを学ぶ機会をもっている」と話すのは会長の大西恵さん。「松本市生活就労センターまいさほ松本」の仕組みや生活困窮者の相談の実態などを知ったうえで、「生活保護について」行政の担当者呼んで研修の時間をとっていました。これまでも、介護のしくみ、保健センターの活動、認知症サポーター、アイサポートなどについての研修を、毎回企画してきました。「行政の担当職員や地域の団体とのつながりをつくり信頼関係を生むねらいもある」と大西さん。日ごろの人間関係作りが、いざというとき役立つといいます。

30人の民生児童委員中、19人が1期目。委員同士の絆づくりをし、意見を言い合えるようになればと、役員会を開いて活動に創意工夫をしています。

特に力を入れているのは地域の福祉施設訪問です。特別養護老人ホーム、デイサービス、認知症のグループホームなど12カ所を数人ずつで訪問。1人が年間4〜5カ所回ることで、3年の任期中に地域の施設を全て把握できるのです。「例えば、廊下が広く車いすの方が利用しやすいなど、施設を訪問して初めて知ることがある。行ったことがなければ、相談されても説明しようがないはず」と強調します。つなぐ先に一歩踏み込んで情報を収集することで、信頼が生まれ、気持ちよくつなぐことができるのです。

定例会では委員同士の視察報告、活動報告や意見交換も活発でした。みんなが経験を共有することで、1人で悩まず民生委員同士で一緒に考える雰囲気づくりを目指します。「小さくても、活動にいい循環が生まれれば」と大西さんは微笑みます。



▲おせち料理配布出発式（2017年12月30日）。167人の一人暮らしへ民生児童委員が全員で配布



### 表紙写真紹介

#### 豊科地区「安曇野の拾ヶ堰」

撮影

安曇野市豊科地区民児協副会長

宮島昭裕 さん

profile 写真が趣味で、地元を中心に、ウォーキングをしながら動植物の写真を撮り歩いています。

豊科地区に位置し、江戸時代後期の文化13年（1816）に開削された。幹線水路の延長は15キロメートル、ほぼ標高570メートルの等高線に沿って安曇野の中央部を貫いて流れている。農水省の「疎水百選」にも選ばれている。撮影は昨年春、橋の上から。



# 「民生委員制度創設100周年記念誌・足跡」ができました!



(巻頭 伊藤篤志 長野県民生委員児童委員協議会連合会会長あいさつ文より抜粋)

平成29年民生委員制度は創設100周年の大きな節目を迎えました。その源は大正6年に岡山県で創設された済世顧問制度です。翌7年には大阪府で方面員制度が創設され、全国的な広がりを見せる中、長野県は大正12年に方面員制度を立ち上げました。以降、人びとに寄り添う献身的な生活が続けられましたが、戦後の改革によって民生委員がその役割を担うことになり、今日に至っています。

この記念すべき時にあたり、長年にわたる先達の方々の足跡を顧み、今後の活動推進の指針とするため「民生委員制度創設100周年記念誌・足跡」を刊行いたします。

A4判 全頁カラー 46ページ

## 内 容

### 発刊にあたって

長野県民生委員児童委員協議会連合会 会長 伊藤 篤志

### 発刊を祝して

長野県知事 阿部 守一

### 発刊に寄せて

社会福祉法人 長野県社会福祉協議会 会長 腰原 愛正

### I 民生委員制度の源流

済世顧問制度と方面委員制度の創設  
長野県の方面委員制度  
戦時下の方面委員活動  
年表 前史(済世顧問、方面委員時代)  
大正5年～昭和20年

### II 民生委員制度の幕開け

方面委員から民生委員へ  
社会福祉協議会との連携による地域福祉活動  
民生委員児童委員協議会(民児協)の歩み  
年表 民生委員の活動前期  
昭和21年～昭和39年

### III 長野県民児連の足跡

長野県民生委員協議会の独立(発足)  
全国モニター調査「寝たきり老人の実態調査」の実施  
主任児童委員制度の創設  
「民生委員・児童委員発 災害時一人も見逃さない運動」を展開  
「民生委員活動と個人情報に関するガイドライン」の策定  
部会活動  
長野県民児連歴代会長  
長野県民生委員児童委員大会(総会)開催状況  
県内開催の全国大会・関東ブロック活動研究協議会  
会報「長野県民生児童委員だより」  
年表 長野県民児連発足以降の活動 昭和40年～平成29年

### IV 資料編 長野県民生委員児童委員協議会連合会の現況

長野県民生・児童委員一斉改選等の概要  
長野県民生委員児童委員協議会連合会 役員と組織  
長野県民生委員児童委員協議会連合会会則  
民生委員の歌・活動記録・民生委員児童委員手帳

### 大会・研修会スナップ

※2月初旬に単位民児協はじめ、市町村民児協に保存版として数部発送いたしました。  
市町村民児協事務局にお問い合わせください。

ようやく花の季節を迎えましたが、今年の冬はこのほか寒さが厳しく、北陸地方や県北西部に大雪をもたらすなどの異常気象が続く、諏訪湖では5年ぶりに御神渡りが出現しました。皆さん、訪問活動などにご苦労されたのではないのでしょうか。その一方、平昌冬季五輪では日本選手が大活躍し、多くの感動を呼びました。今号では、2月に上田市で行われた「子育て支援を語るつどい」を特集として取り上げました。つどいには、市町村民児協会長と主任児童委員の代表が参加し、講演のほかグループ討論などを行いました。また、今号で紹介の通り、去る1月、民生委員制度創設100周年記念誌「足跡」が刊行されました。私も編集委員会の一員として編集に携わりました。済世顧問制度に始まる民生委員制度の歴史の流れを辿る作業の中で確認できたことは、いつの時代にあっても人びとに寄り添う活動が連続として続けられてきたということでした。

記念誌は各単位民児協にお届けしてありますので、ご覧いただければ幸いです。

熊井文弘



編集委員

リレー日記

編集委員 / 熊井 文弘・土屋 珠江・増田 早苗・深澤 保雄